かわせみ座

令和 元年度

文化芸術による子供育成総合事業

── 巡回公演事業 ──

Where Spirits and Fairies Dwell

まほろばのこだま

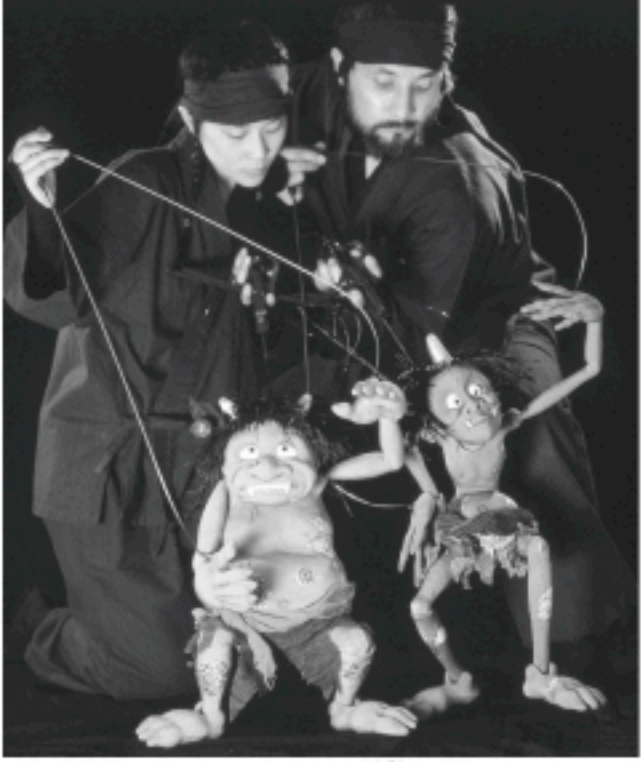
ののさまたちが目を覚ます

「 文化芸術による子供育成総合事業 ― 巡回公演事業 ―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や、国民の芸術鑑賞 能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁



人と友達になりたくて、山から人里におりてきた
花鬼のぐじとごべ。人間は気づいてくれるでしょうか。

祭り囃子に誘われて、狐のコンがあらわれる。
娘に化けて、舞い踊る。狐 娘の華麗な舞をごらんあれ！

山の神に仕える烏天狗の呵と酌。
欲望を抑えられない酌は、いつも呵にしかられる。

<プログラム>

＊プロローグ

夕暮れ時--- いたちのチョロ助

＊人里---花鬼のぐじとごべ

＊囲炉裏端---座敷童子　雛子

＊秋祭り ---狐娘の変化

＊山神---烏天狗の呵と酌

＊吹雪の中で --- 雪変化

＊エピローグ

雪原の朝--- いたちのチュイとチョロ助

＊ワークショップ作品『狐森のキツネ達と子いたち』

～人形やオブジェを使って、生徒達と共に舞台を遊ぶ～

狐森のキツネ達と子いたちのチュイ

<キャスト>

人形操演／山本由也・益村　泉

童子達／八木澤賢・三国谷花・脇田あやこ

<スタッフ>

作・原案／山本由也・益村　泉

構成・演出／高畑　勲・山本由也

振付け／益村　泉

人形美術・舞台美術／山本由也

照明／ 山岡靖典・土田美月

音響／梶原由佳子

舞台監督／佐藤卓三

舞台監督助手／石河内敏

高畑　勲（アニメーション映画監督）

わたしがかわせみ座に強く惹かれるのは、その技量とこころざしの高さによります。

上からぶらさげただけの人形たちを血の通う生きた存在と感じさせるには、驚くべき力量が必要です。見つめるに値する優れたキャラクターを作り、自在に演技させうる機能を与え、さらにそれを的確な演技で使いこなす。この三拍子が揃わなければ、人にその存在を信じさせることなど思いもよりません。ストーリーにもセリフにもセットにもよりかからず、人形たちの行動だけで何をしているかを悟らせ、その心を感じ取らせ、さらには、パントマイムや狂言のように、まわりにあるはずの見えない存在や空間さえ、眼前にありありと現出させようというのが、かわせみ座の心意気です。

やまとは　くにのまほろば
畳　　青垣　　山籠
やまとし　うるはし　　ヤマトタケルノミコト（古事記）

まほろばのこだま

ののさまたちが目を覚ます

青々とした垣のように重なり合う緑濃い山にかこまれたところ。じぶんたちを抱いてくれる美土地。母の胎内のようにやすらげる、山ごもった「まほろば（まほらま）」。昔から人々はそういうところに好んで住み、その自然を相手に生活を営んできました。そしてこの「まほらま」のふところ、その山や川、田畑や家屋敷には、人間や動物だけでなく、さまざまな小さき神々（ののさまたちや木霊）が暮らしているとわたしたちの祖先は信じ、その気配を敏感に感じ取って姿を思い描き、畏れ崇めたのです。

かわせみ座は、これらの小さき神々をリアルに、楽しく、また詩的に舞台によみがえらせる努力をつづけてきました。山から下りてくる花鬼ぐじとごべのコンビ、座敷童子の雛子、おコン狐、烏天狗の呵と酌、童子をめぐる雪狼と雪女郎などです。

『まほろばのこだまーののさまたちが目を覚ます』は、2000年、これらの小品をまとめ、わたしたちが忘れかけている「小さき神々」の気配をもっと身近に感じ、心によみがえらせることを願って本格的に練り上げたものです。お手伝いとして参加したわたしの要求は三つ、わたしたち人間の代表として生身の子ども役を配すること、わらべうたを活用すること、身近なもうひとつの存在として小動物を出すことでした。そして舞台に一貫性と強い求心力をもたせようと、スタッフ・キャスト一丸となって稽古に励みました。

さいわい初演は高い評価を頂き、以来今日まで、新たな工夫を交え、さらなる充実を心がけています。海外でも公演を行い、好評を得ました。

あとはただ、みなさまに人形たちを（操演者を忘れて！）食い入るように見つめてくださることをひたすらお願いするばかりです。そうすれば、「ののさま」たちはきっと生きた存在となって躍動し、必ずやあなたの心に宿ることでしょう。

【かわせみ座】代表の山本由也は、日本の伝統的な糸操りの「竹田人形座」（東京都無形文化財）を経て、人形を使った新しい舞台表現を創り出すために1982年にかわせみ座を創立。

アーティスト・ドールとしても通用する洗練された人形美術、型にはまることのないオリジナルな操作構造は人形たちに自然で自由な動きを与え、見る人を驚かさずにはいない。現在、バレエやミュージカル、ストレートプレイなどの俳優の経験を持つ益村泉と共に独自の舞台芸術としての人形を遣った空間パフォーマンスを発表し続けている。

国内はもとより『UNIMA 世界人形劇フェスティバル』をはじめハンガリー、カナダ、スペイン、アメリカ、イタリア、メキシコ、香港などといった海外のフェスティバルに招待され高い評価を得ている。

【かわせみ座海外公演歴】

1986年　韓国ソウル　国際人形劇フェスティバル（招待公演）
1988年　台湾アジア・太平洋国際人形劇フェスティバル（招待公演）
1991年　イラン（テヘラン）世界人形劇フェスティバル（招待公演）
1996年　ハンガリー（ブダペスト）ウニマ・世界人形劇フェスティバル（招待公演）
1996年　ハンガリーBEKESCSABA 国際人形劇フェスティバル（招待公演）
1996年　カナダ（モントリオール）シーナル96 世界舞台芸術見本市　エントリー公演
1997年　スペイン（トロサ）国際人形劇フェスティバル（招待公演）
1999年　アメリカ（マリブ）ペッパー・ダイン大学（招待公演）
1999年　アメリカ（シアトル）インターナショナル・チルドレンズ・フェスティバル（招待公演）
2001年　アメリカ（セントポール）インターナショナル・チルドレンズ・フェスティバル（招待公演）
2002年　香港アートフェスティバル（招待公演）
2002年　モロッコ・チュニジア・イスラエル公演（日本大使館・国際交流基金主催 公演）
2003年　韓国ソウル・チョンドン・シアター公演
2005年　イタリア（ラヴェンナ、カンピリアマリッティマ）、スコットランド（エジンバラ）公演
2007年　香港アジア人形劇シリーズ公演
2008年　メキシコツアー（三都市公演）
2012年　中国（成都・南充）ウニマ・世界人形劇フェスティバル（招待公演）
2013年　アメリカ（ナッシュビル）国際人形劇フェスティバル（招待公演）
2015年　リトアニア・エストニア 国際人形劇 フェスティバル（招待公演）
2016年　アメリカ（ナッシュビル）国際人形劇 フェスティバル（招待公演）

実施日程	実施会場名	開演時間	開催校以外の地元主催者
2019年　6月 3日（月）	南小国町立市原小学校	14：00	熊本県教育委員会/南小国町教育委員会
2019年　6月 4日（火）	熊本市立西原中学校	14：00	熊本市教育委員会
2019年　6月 5日（水）	熊本市立春竹小学校	14：00	熊本市教育委員会
2019年　6月 6日（木）	御船町立高木小学校	14：00	熊本県教育委員会/御船町教育委員会
2019年　6月 7日（金）	みやま町立南小学校	14：00	福岡県教育委員会/みやま市教育委員会
2019年　6月10日（月）	対馬市立大船越小学校	14：00	長崎県教育委員会
2019年　6月11日（火）	対馬市立豊玉中学校	14：00	長崎県教育委員会
2019年　6月13日（木）	伊万里市立南波多郷学館	13：45	佐賀県教育委員会/伊万里市教育委員会
2019年　6月14日（金）	平戸市立田助小学校	13：50	長崎県教育委員会
2019年　6月17日（月）	島原市立第二中学校	14：00	長崎県教育委員会
2019年　6月18日（火）	長与町立高田小学校	13：20	長崎県教育委員会
2019年 10月15日（火）	鹿島市立北鹿島小学校	14：00	佐賀県教育委員会/鹿島市教育委員会
2019年 10月16日（水）	みやき町立三根西小学校	13：30	佐賀県教育委員会/みやき町教育委員会
2019年 10月17日（木）	武雄市立武内小学校	13：00	佐賀県教育委員会/ 武雄市教育委員会
2019年 10月23日（水）	田川市立田川中学校	14：00	福岡県教育委員会/ 田川市教育委員会
2019年 10月24日（木）	直方市立直方第一中学校	13：45	福岡県教育委員会/ 直方市教育委員会
2019年 10月25日（金）	福岡市立堤丘小学校	14：15	福岡市教育委員会学校指導課
2019年 10月28日（月）	福岡市立脇山小学校	14：00	福岡市教育委員会学校指導課
2019年 10月29日（火）	北九州市立大里東小学校	13：30	北九州市教育委員会

知ってますか？　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。